

令和5年度

札幌科学技術専門学校

自己評価及び学校関係者評価結果報告書

学校法人 総合技術学園

札幌科学技術専門学校

本校における学校評価は、学校教育法及び学校教育法施行規則に従い、学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営に改善を図るため必要な措置を講ずることによりその教育水準の向上に努めることを目的としました。

また、自己評価の結果については、学校関係者評価委員会による評価を行い、その結果を公表することにより説明責任を果たすとともに、地域や企業との連携・協力による特色ある専修学校づくりを図っていくことに努めます。

1 学校関係者評価委員

氏 名	種 別	所 属
倉 内 慶 一	高等学校関係者	元北海道札幌あすかぜ高校長、現小樽双葉高等学校校長
今 井 裕比古	地域住民	大通地区西17丁目町内会長
橋 本 光 江	卒業生	専門課程第4期卒業生（生物工学科）
登 内 里 恵	保護者等	専門課程二級自動車整備士コース1年生保護者
滝 川 勲 伯	関連業界関係者	株式会社 滝川自工 専務取締役

2 自己評価及び学校関係者評価委員会の日程

- (1) 7 / 27 (金) ・ 第1回自己評価委員会における学校評価の在り方等について
- (2) 8 / 8 (火) ・ 第2回学校評価委員会（名称変更）における学校評価の見直しについて
- (3) 9 / 13 (水) ・ 第3回学校評価委員会における自己評価項目の検討について
- (4) 12 / 7 (木) ・ 自己評価案の検討
- (5) 12 / 20 (水) ・ 最終案の検討
- (6) 1 / 15 (月) ・ 教職員に対する自己評価の依頼
- (7) 2 / 5 (月) ・ 自己評価結果の教職員への公表、改善策の検討依頼
- (8) 3 / 18 (月) ・ 改善策のまとめを教職員へ提示
- (9) 4 / 12 (金) ・ 学校関係者評価委員への自己評価結果及び改善策等の評価依頼
- (10) 5 / 1 (水) ・ 「令和4年度自己評価及び学校関係者評価結果報告書」の作成
- (11) 6 / 28 (金) ・ 上記報告書のまとめ

3-1 令和5年度 自己評価票【高等課程】

評価点: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1

項目	番号	質問内容	平均	平均
・ 教育 目 念 理 標	1-1	教育理念、教育方針等は印刷物や掲示物などで日常的にその意識を醸成しているか	3.4	3.3
	1-2	教育目標達成のため「教育計画」に則った 教育活動が推進されているか	3.4	
	1-3	専門学校への進学や就職への適性を高める選択・コース・分野の構成となっているか	3.0	
学校 運 営	2-1	「学校運営方針」や「科技専中期ビジョン2022～2027」について理解しているか	3.0	2.9
	2-2	「科技専中期ビジョン2022～2027」を踏まえた事業計画となっているか	2.9	
	2-3	組織・体制は学校運営上、有効に機能しているか	2.8	
	2-4	給与や時間外勤務等に関する整備、労使間の協議が適切に行われているか	2.9	
	2-5	教育活動等に関する情報公開等がホームページなどで適切に行われているか	3.0	
	2-6	人的管理や教務統計などが、情報システム化により業務の効率化が図られているか	2.6	
教育 活 動	3-1	学校評価や情報公開に基づく『質の保証・向上』のため、専門課程との連携(情報交換)を図っているか	2.6	3.0
	3-2	高・専一貫教育による産業技術者の育成を目指した取組が、専門課程と連携して体系的・計画的なものになっているか	2.5	
	3-3	実践的な職業教育の視点に立った授業方法の工夫・開発などが実施されているか	3.0	
	3-4	専門課程の各関連学科に関する、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせるカリキュラムの設定になっているか	3.0	
	3-5	専門4分野は産業構造の変化や技術の革新に対応しうる能力を育成する教育課程となっているか	2.8	
	3-6	専門課程ガイダンス(1年)・専門課程訪問(2年)による専門課程研究について、計画的・系統的な指導が行われているか	3.3	
	3-7	生徒の学習実態を把握して教員間で共通理解のもと指導に当たれているか	3.4	
	3-8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.3	
	3-9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.4	
	3-10	学校教育目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2.6	
	3-11	関連分野における優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	2.8	
	3-12	生徒指導や教科指導の研修案内がされており、参加の機会が確保されているか	3.1	
生徒 指 導 等	4-1	基本的生活習慣の確立のための取組みが行われているか	3.4	3.2
	4-2	生徒の安全管理のための取組等(災害共済保険、スクールカウンセラー、発達障害のある生徒等への支援など)が行われているか	3.0	
	4-3	生徒・保護者からの相談体制が整備されているか	3.4	
	4-4	進学・就職指導に関わる段階的な指導体制は整備されているか	3.0	
活動 特 別 等	5-1	特別活動の目的に沿って、計画的・系統的な指導が行われているか	2.9	2.9
	5-2	保護者会(科技高を応援する会)と連携した活動を推進しているか	3.0	
学 修 成 果	6-1	学年と進路指導部が連携を強化し、進学率や就職率の向上が図られているか	3.1	3.0
	6-2	学年及び教科と連携して、資格取得率の向上が図られているか	3.1	
	6-3	教職員で情報共有し、退学率の低減に向けたきめ細かな対応が行なわれているか	3.5	
	6-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.4	
生徒 支 援	7-1	生徒・保護者への経済的側面に対する支援体制は十分に機能しているか	3.4	2.9
	7-2	生徒の健康管理に配慮した教育体制はあるか	2.9	
	7-3	学業を優先したクラブ活動や課外活動に対する指導を行えているか	3.4	
	7-4	保護者との連絡・相談、協力依頼など、適切に連携しているか	3.4	
	7-5	卒業生の情報把握と、それを基にした在校生へのアプローチができているか	2.1	
	7-6	専門課程との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	2.5	
環 境 育 成	8-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように、整備および工夫がされているか	2.5	2.6
	8-2	安全施設、防火施設について、点検及び補修・改修計画が示され、適切に行われているか	2.9	
	8-3	防災に対する体制は整備されているか	2.5	
募 集 受 け 入 れ の 生 徒	9-1	中学校等接続する機関に対する情報提供等の取組みが行われているか	3.0	3.2
	9-2	生徒募集活動は、適宜、見直しや工夫が行われているか	3.3	
	9-3	生徒募集活動において、学校案内やホームページ等で教育成果(資格取得・進学または就職状況等)は正確に伝えられているか	3.3	
	9-4	生徒納付金は学校運営や生徒募集の観点から妥当なものとなっているか	3.1	
財 務	10-1	中長期的に学校の財務基盤を安定させるための研究・工夫がされているか	2.4	2.6
	10-2	予算・収支計画が有効かつ妥当なものとなるよう、協議・検討がされているか	2.8	
	10-3	財務の会計監査の報告に対して、内容を適切に把握できているか	2.6	
	10-4	財務情報公開の体制について、整備されているか	2.6	
遵 守 法 令 等	11-1	法令や規則、通知・通達の遵守と適正な運営がなされているか	3.0	3.0
	11-2	個人情報の保護や適正な活用に関する意識の向上が図られているか	2.8	
	11-3	自己評価の適切な実施及び学校関係者評価委員との連携による課題の改善を行っているか	3.1	
会 員	12-1	生徒のボランティア活動について啓蒙し、計画的に行っているか	2.9	2.8
	12-2	北校舎として資格試験会場や専門課程との連携・共用を工夫しているか	2.8	

3-2 令和5年度 自己評価票 <専門課程>

評価点: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1

項目	番号	質問内容	評価点	平均
教育目標	1-1	本校の教職員として、教育理念、教育目標、教育方針等は理解しているか	3.3	3.1
	1-2	学生や保護者等に対して、本校の教育理念等は周知、理解されているか	3.0	
	1-3	社会や関連業界のニーズを理解し、教育目標の達成に向けて学生の実態を踏まえた教育を展開しているか	2.9	
学校運営	2-1	「学校運営方針」や中期目標「科技専中期ビジョン2022～2027」について理解しているか	3.0	2.9
	2-2	中期目標を踏まえた事業計画となっているか	3.0	
	2-3	組織・体制は学校運営上、有効に機能しているか	2.6	
	2-4	学則・就業規則は法令や規則の変更等に応じて見直しが行われているか	3.0	
	2-5	教育活動等に関する情報公開がホームページ等で適切になされているか	3.1	
	2-6	情報システム化によって帳票管理等の業務効率化が図られているか	2.4	
教育活動	3-1	教育理念、教育目標に沿ったカリキュラムの編成や実施がなされているか	3.0	2.9
	3-2	育人人材像や関連業界のニーズを踏まえ、修業年限に応じた教育到達レベルを設定し、そのための学習時間を確保するためのカリキュラムとなっているか	3.1	
	3-3	実践的な職業教育を達成するために教育方法の工夫や開発等を行っているか	2.8	
	3-4	実践的な職業教育として、インターンシップや職業見学等を積極的に利用しているか	2.9	
	3-5	明確な資格取得目標を設定し、カリキュラムの中で体系的に指導を行っているか	3.4	
	3-6	関連分野における最新の知識や技術を備えた教育(本務・兼務を含む)を配置できているか	2.8	
	3-7	教員に対して、関連分野における最新の知識や技能等の修得、指導力向上その他を目的とした研修等に参加する機会を提供されているか	2.6	
	3-8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2.4	
	3-9	成績評価、進級または卒業認定の基準は明確であるか	3.4	
学修成果	4-1	就職支援室との連携を強化するなどして、就職率の向上が図られているか	3.3	3.2
	4-2	対策授業を行うなど、資格取得率の向上が図られているか	3.7	
	4-3	学生支援センターと連携を強化するなど、退学率の低減が図られているか	3.3	
	4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍を把握しているか	2.9	
	4-5	就職先企業との情報交換などにより卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用しているか	2.9	
学生支援	5-1	進路・就職に関する支援体制は十分に機能しているか	3.2	3.1
	5-2	学生相談に関する体制は十分に機能しているか	3.3	
	5-3	学生・保護者を経済的に支援する体制はあるか	3.3	
	5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.9	
	5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.9	
	5-6	情報交換や情報提供など保護者と適切な連携がなされているか	3.1	
	5-7	卒業生への支援体制はあるか	2.9	
環境教育	6-1	教育施設や設備は、教育上の必要性に対応できるよう整備、更新されているか	2.2	2.7
	6-2	インターンシップ等を奨励するために学生が学外で活動しやすい教育体制となっているか	3.0	
	6-3	防災に対する訓練・組織編制(体制)は整備されているか	3.1	
学生募集	7-1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組みが行われているか	3.1	2.9
	7-2	学生募集活動は、適宜、見直しや工夫が行われているか	2.7	
	7-3	学生募集活動において、学校案内やホームページ等で教育成果(資格取得・就職状況等)は正確に伝えられているか	3.0	
	7-4	学納金は学校経営や学生募集の観点から妥当なものとなっているか	2.7	
財務	8-1	学校の財務基盤は安定しているか	2.1	2.9
	8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.9	
	8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	3.5	
	8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	3.4	
法令等の遵守	9-1	労働環境における就業規則や定年規定など、関連する法令・規定の遵守と適正な運営がなされているか	2.7	2.8
	9-2	個人情報の保護や適正な活用に関する、意識の醸成がなされているか	2.8	
	9-3	自己評価の適切な実施及び学校関係者評価委員との連携による学校運営の改善を行っているか	3.0	
社会貢献・地域貢献	10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献(試験会場やセミナーなどへの貸し教室等)を行っているか	3.5	3.3
	10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	2.8	
	10-3	地域に対する公開講座・教育訓練(中学生の受け入れ等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3.4	
国際交流	11-1	留学生の受け入れについて、担当する部署や役割分担が組織として位置づけられているか	3.1	3.2
	11-2	留学生の学習・生活指導等について、支援するための体制が整備されているか	3.1	
	11-3	日本語教育機関、留学生進学相談会に対して、情報提供・情報共有等の取組みが行われているか	3.2	
	11-4	受け入れ後において、在籍管理(出席・学習状況の確認等)が適切に行われているか	3.4	

4-1 令和5年度 自己評価 【高等課程】 改善策について

1 <3-2> 高・専一貫教育による産業技術者の育成を目指した取組が専門課程と連携して体系的・計画的なものになっているか

<6-4> 専門課程との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか

高専一貫教育の教育方針を更に充実したものにするために、高専の連携の可能性や有効な取組を協議することなどを目的とした、高等課程の専門4分野（情報技術、環境・バイオ、電気、自動車）の担当教員と専門課程関連学科の情報交換の場を設定する。初めての取組であることから、管理職が日程の調整を行う窓口とするなどの工夫を図る。

2 <6-4> 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

卒業生については母校訪問時に教職員との交流の中で現在の活躍とその評価を把握しているが、今後は<7-5>での卒業生の情報把握と絡めて認知していけるよう工夫したい。

在校生については、その都度生徒や保護者からの情報提供によって把握できているが、本校生徒の特性もあり、部活動や学校外の団体や個人での活動等があまり見られない現状がある。授業や部活動を中心に地域社会と接点を持たせ活躍できる機会を模索する。

3 <7-5> 卒業生の情報把握と、それを基にした在校生へのアプローチができているか

卒業生の情報把握について、これまで具体的な取組にいたらない状況であった。しかし卒業後の進学先や就職先を退学や離職する卒業生も見られることから、特に卒後1～2年については元担任による家庭への聞き取りなどで把握しつつフォローアップにつなげる機会を設けることを検討したい。また、把握した情報を在校生の進路指導場面でリタイア防止の啓発などへの活用を研究する。

4 <8-3> 防災に対する体制は整備されているか

非常階段の階段や踊り場の腐食した鉄板等は3年前に補修を終えているが、支柱土台の基礎が老朽化・破損が確認でき、活用についての不安の声がある。専門家による危険度の確認や補修のための予算化について、具体的な計画が必要である。

非常放送設備のスピーカーの不具合も指摘されているが、非常階段と同様の対応が必要であることから、これらを並行して、改善に向けた計画の作成を図る。

5 <8-1> 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備及び工夫がされているか

本校舎も築37年を迎え、施設・設備に突発的な修繕が発生し、限られた予算の中で苦心している。施設・設備の整備や対策については、優先順位を配慮しながら計画的に行う方針で対応しようとしているが、予算上の制約も多い。

そのため、「科技専中期ビジョン2022～2027」において、重点取組事項として「校舎老朽化に対する検討、教育環境改善」が示されていることから、中・長期的観点での議論を意図的に推進する。

6 〈10-1〉中長期的に学校の財務基盤を安定させるための研究・工夫がされているか

学校法人であるため、営利のための事業等が禁止されていることから、財政基盤の安定化のためには、入学者の増加が唯一の方法である。関連する事項として、令和5年度に授業料等の学納金の値上げについて検討し、令和7年度入学生から値上げした学納金での運営が始まるが、このことが、どこまで改善に寄与するかは想定の外を出ない。教員にとって、財務に関する内容は、これまで、職責外と理解してきた教員が多く、意識や関心が低い傾向があることから、これらの意識改革と改善を図り、「チーム科技専」として教職員が一丸となった取り組むことを目標とする。

4-2 令和5年度 自己評価〈専門課程〉重点事項・改善策について

1 〈2-3〉組織・体制は学校運営上、有効に機能しているか

令和5年度は学生および教員のサポートを担う学務部として、教員の業務負担を軽減する取り組みを明確に打ち出すことができなかつた。どの部署も限られた人員で業務を行っている中、教育活動のみならず募集活動を含めた教員と関係部署との横断的な活動に対し、学務部のイニシアティブが必要である。

2 〈2-6〉情報システム化によって帳票管理等の業務効率化が図られているか

新しい教務システムへの移行を急ぐとともに、教職員の使用パソコンも業務に支障が出始めていることから、計画的な更新を進め、効率的な業務の推進を図る。

3 〈3-7〉教員に対して、関連分野における最新の知識や技能等の修得、指導力向上その他を目的とした研修等に参加する機会を提供されているか

令和5年度は予算を確保し研修を奨励したものの、数件の研修参加に留まった。教職員に対して引き続き、費用面での支援と研修機会の情報収集・提供、そして、その成果を学生への教育・指導へ還元することを求める。

4 〈3-8〉職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか

学科により企業との接点の有無、外部関係者・企業への働きかけ方が分からず苦慮している。就職支援室と学務部の協力により、外部関係者と接する機会の確保ならび業界のニーズ把握につなげ、教育内容への反映を図る。

5 〈6-1〉教育施設や設備は、教育上の必要性に対応できるよう整備、更新されているか

施設の老朽化は本校の一番のウイークポイントである。限られた予算の中で優先順位を決めて、設備・機材の更新を進め、教育内容の質の確保を目指した教材開発・研究の推進を図る。

6 〈8-1〉学校の財務基盤は安定しているか

他に大きな収入源が無いいため、財務状況は学生数に左右される。引き続き、全教職員に丁寧で魅力ある教育活動の推進と学生の募集活動への協力を推進する。

5 まとめ

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の二類から五類へ移行されたことに伴い、令和5年度の教育活動は、一部を除いて平常に近い状況で実施することができました。

また、令和4年度には「科技専中期ビジョン2022～2027」が示されたことから、「自己評価」について項目や質問内容の大幅な見直しを行い、改訂した評価項目・内容で実施し、それに基づいた学校評価となりました。

そのようなことから、令和5年度の学校関係者評価委員会は、是非、対面で実施できるよう予定しておりましたが、業務の推進状況や日程調整の困難さもあり、今年度も①自己評価結果及び改善策等の提示 ②自己評価結果及び改善策等についての学校関係者評価委員からの評価・意見の聴取 ③「令和5年度事業報告」や「校長室だより」などの関係資料等その他の情報提供 などにより「報告書」のまとめにあたりました。

以上のような関係もあり、自己評価についての計画的・効率的な学校評価には十分ではありませんが、幸いにも、学校関係者評価委員さんによる入学式や卒業式などの学校行事へのご出席やご意見・ご感想等も寄せられ、幅広い観点からの貴重なご意見やアイデアをいただくことができ、今後の課題解決のための取り組みと地域や関係する企業等との連携・協力による特色ある専修学校づくりを図るなど、今後の学校運営に反映させることができると考えています。

最後に、お忙しい中様々な形でご協力をいただきました、学校関係者評価委員の各位に感謝を申し上げ、「自己評価及び学校関係者評価結果報告書」といたします。

令和6年6月28日

札幌科学技術専門学校 学校評価委員会
委員長 児玉 佳範（校長）